

磐梯山の自然と生き物

S・H

私は、自然体験学習で「高山植物」と「高原植物」という二つのコーステーマで、自分が調べたかった植物を調べてきました

～1日目～

自然体験学習一日目のコーステーマは「人と自然との関わり」でネイチャーガイドの先生は、横田清美先生でした。

私は今まで学習してきた高山植物を自分自身の目で見るとするためにこのコースを選びました。でも高山植物以外に、巨大ナメクジやクマが木に登った時の爪の跡、クマが木に登って自分の足場を作った跡などたくさんの発見がありました。

↓その中で一番印象に残っているのが、巨大ナメクジがキノコを食べているところです。



ナメクジは日常生活でみるナメクジよりもかなり

大きくて、色も茶色っぽくて枯れて落ちた葉っぱみたいでした。

このナメクジはヤマナメクジといって普通に見るナメクジよりも大きくて、体長は10cm以上あるそうです。またこのナメクジは食用だそうです。

クマが木に登ったときについたひっかき傷のような跡も見つけることができました。横田先生はこの跡を多分十年も前のものだろうと言っていました。

また、畑では本物かは分かりませんが、クマの足跡のようなものを発見することができました。→国の指定重要文化財の天鏡閣にも行きました。

「かや」で出来ているのに雨もりをしないという不思議な屋根もみつけました。この屋根は「かやぶき屋根」といって、「かや」を何段も何段も積み重ねているので、雨がもれないそうです。



～2日目～

自然体験学習2日目では「高原の植物を調べよう」というコーステーマで、ネイチャーガイドの先生は、阿部武先生でした。このコースで私はとにかく不思議な性質を持つ植物を見たいな、と思いました。

このコースでは植物以外に、クマが好物の木の実を食べるために木に登り、自分の足場を作るために枝を折って作った「熊だな」というものも見る事ができました。

コースは野鳥の森で、鳥がみられるかな？とと思っていましたが、全然見られなくて残念でした。

でも1日目にたくさん見てきたトリカブトという猛毒を持つ植物や、カタバミ、ツリフネソウ、タムシバ、ノコンギクなどのたくさんの植物を見ることができました。



阿部先生が私たちのためにプリントを作ってください、私の質問にもとても分かりやすく答えてくれました。

私が阿部先生に質問したことは、「不思議な植物はあるのか？」ということについてでした。先生はこの質問について、「千葉県に分布しているカタクリという植物の生活はとても不思議だ」、と答えてくれました。

<カタクリの生活>

カタクリの種子をアリが地下に運ぶ。→ゆっくり成長して7～8年かけて花をつける。

→蝶が花粉を運んで →種子ができて→同じことの繰り返し

こんな感じでカタクリは同じことを何度も何度も繰り返していることが分かり、カタクリはとても不思議な植物だ、と思いました。それにカタクリは種子を運んでくれるアリと、花粉を運んでくれる蝶がいなかったらカタクリは自分の仲間を増やすことができないんだと思いました。

また他にもアザミなどのキク科の植物は花粉を噴き出すこと、シロツメクサやネムノキなどマメ科の植物は夜葉を閉じて眠ること・・・たくさんの方が書いてあり、とても勉強になりました。

また植物の種子の広がり方は、「動物散布」と「風散布」「はぜる」「水に流される」「体表

に付着」の5つの種類があるそうです。下の例は風散布です。

＜風散布＞（例、タンポポ）

タンポポの花が咲いて → 綿毛になって → 綿毛が風で飛ばされ、子孫を増やす
タンポポはこれを繰り返しながら、自分の子孫をどんどん増やしています。

このようにして、植物も一生懸命頑張っていることを学びました。

自然体験学習で学んだこと

今回の自然体験学習で動物や植物の千葉では見られないたくさんのことを見て、観察してきて、本当によかったなと思います。去年からずっと、「もっと知りたいことフレーズ」で高山植物などのたくさんの植物の特徴や性質を調べてきて、今回の自然体験学習で調べたことを生かし、自分の目で見てくることができよかったです。

「もっと知りたいことフレーズ」で調べなかったカタクリの生活や植物の種子の広がり方、かやぶき屋根やヤマナメクジなどたくさんのことを学ぶことができました。今回の自然体験学習で人の近くには植物と動物がいつも生活していることに気付かせてくれました。